昭和初期の建築を訪ねる 近代建築散歩

アパート建築の名残が色濃く残る

奥野ビル

map P16・B8
住 中央区銀座1-9-8
交 東京メトロ銀座一丁目駅10番出口からすぐ

同潤会アパートを手がけた川元良一の設計で、建築当初は銀座アパートメントと呼ばれた高級アパートだった。昭和初期の趣を残すタイル貼りの外観や、レトロな内装が印象的。民間の建物として初めてだった手動式エレベーターが、今も大切に利用されている。現在はこの建物を愛するアーティストたちのアトリエやギャラリーとして活用されている。

▶ドアの開閉は手動のエレベーター。階数表示も趣がある
▲タイルや壁、手すりなどインテリアはモダン
◀スクラッチタイルの外壁が特徴。本館と新館に分かれる

注目スポット

Y's ARTS

アンティークショップとオーナーのつつみよしひこ氏のコンテンポラリーアートギャラリー。アンティークと現代アートが融合した空間は、外国人観光客にも人気。

☎03-3564-5123
時 12～19時 休 水曜、日曜不定休

◀イギリスで買い付けしたアンティークが並ぶ

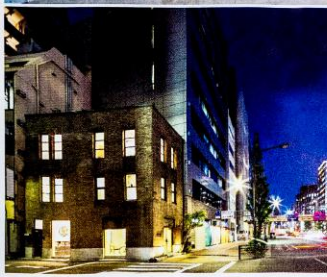
ギャラリーとして甦ったモダニズムビル

銀座レトロギャラリー MUSEE

map P16・B8
☎03-6228-6694
住 中央区銀座1-20-17
交 東京メトロ銀座一丁目駅10番出口から徒歩3分
時 11～18時 休 月・火曜

昭和通り沿いに立ち、存在感たっぷりの3階建てのビル。昭和7年（1932）に油商店として建てられたビルは、40年間営業していた料亭が退去することになり、取り壊しが決まっていた。しかし、現オーナーは街に愛されているビルを時代のモニュメントとして残すことを決意。現在は企画展を主催する美術館のようなギャラリーとして、新しいアートの世界を表現する場となっている。銀座の歴史を紹介する常設展示も興味深い。

▶窓枠も当時のまま。取っ手は今では珍しい鉄の鋳物
▼当時流行したレンガ風の加飾タイルが印象的



◀上日本の伝統建築・杉天井をそのまま残し味わい深い空間に
◀下 昭和通り沿いの角地、一際小ぶりなフォルムが目を引く